KENWOOD

ステレオラジオカセットレコーダー

CXR-A3TV

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5250-08 00 (CH) (J) OC 0111

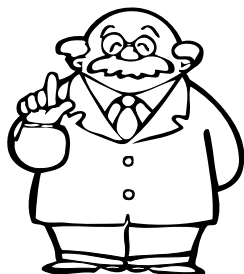
テレビ(VHF)の全チャンネルが聴けるチューナー付き

AM/FM放送に加え、VHFテレビ(1〜12チャンネル)の放送が聴けます。

誰でも使える簡単操作

日本語表示で、簡単に操作できるシンプル機能です。

小さくて、キュートなデザイン

どこにでも置ける小さな、かわいいデザインにしました。

目次

⚠のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

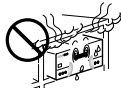
交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

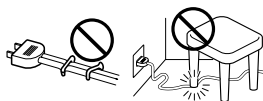
雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

きれいにしましょう

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

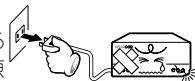
機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

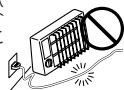
落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近付けない

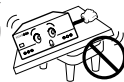
電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

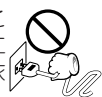
指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠ 注意

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

物を乗せない

この機器の上に物を置かないでください。落下して、けがの原因となることがあります。

指定以外の充電器や、ACアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

禁止

破裂・液漏れや、加熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

機器に乗らない

この機器に乗らないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

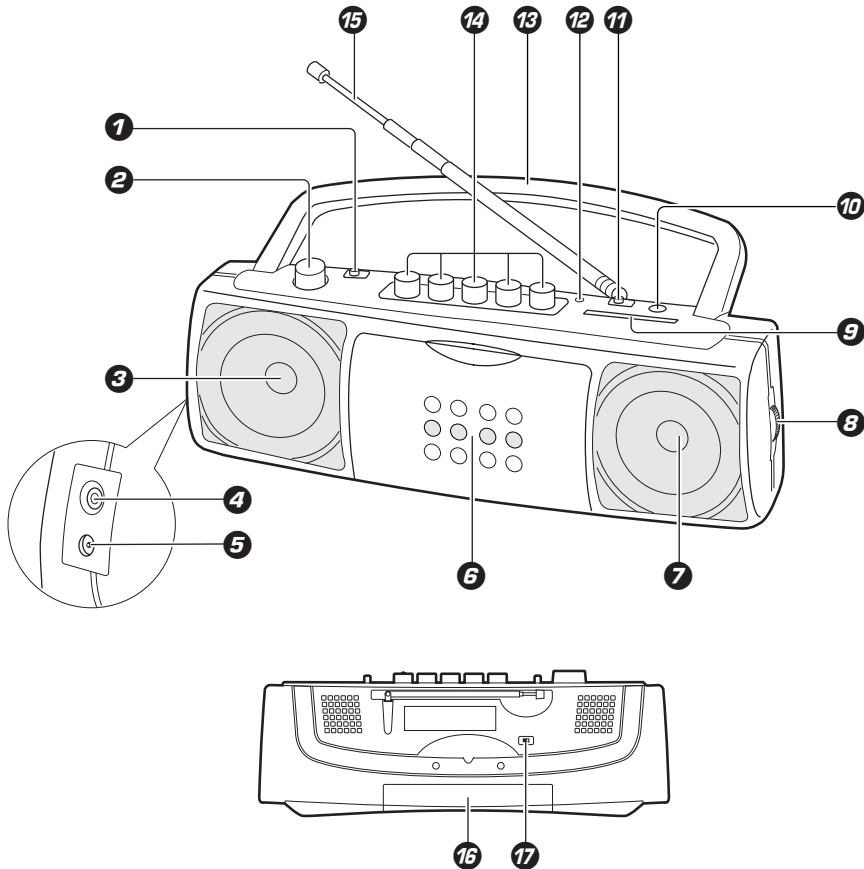
- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

よく確かめて

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

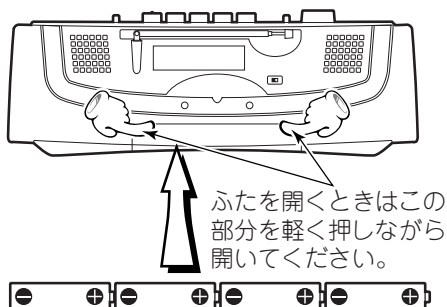
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

各部のなまえ

❶ テープ(電源切)/ラジオ切換スイッチ
❷ 音量調節ツマミ
❸ 左スピーカー
❹ ヘッドホーン端子
❺ DC 6V 端子
❻ カセットドア
❼ 右スピーカー
❽ 選局ツマミ
❾ 周波数表示部
❿ 内蔵マイク
⓫ 放送バンド切換スイッチ
⓬ 電源/電池ランプ
⓭ 取っ手
⓮ カセット操作ボタン
　停止(■)
　早送り(◀◀)
　巻戻し(▶▶)
　再生(◀)
　録音(●)
⓯ FM /テレビ用ロッドアンテナ
⓰ 電池蓋
⓱ ビートキャンセルスイッチ

CXR-A3TV(J)

乾電池で使うとき

1 乾電池ケースをあける

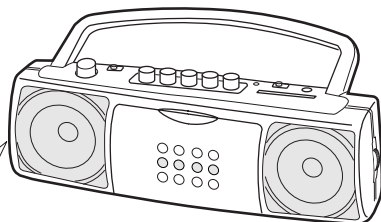
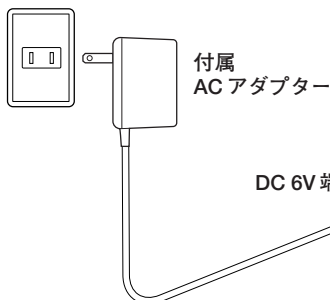
● セットを寝かすと入れやすくなります。

2 電池を入れ、乾電池ケースを閉める

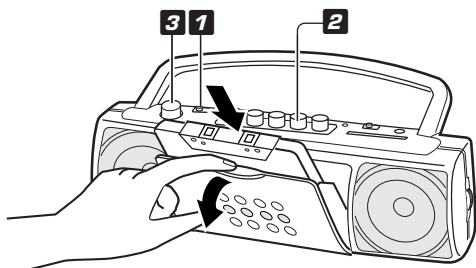
● 十、ーの極性に注意して入れてください。
⚠ **乾電池4本のうち、1本を逆に接続すると、大変危険です。絶対に逆に入れないでください。**
● 市販の単三アルカリ乾電池4本をご使用ください。
● アルカリ乾電池マンガン電池、ニッカド電池など、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
● 大切な録音をするときは、なるべく家庭用電源をお使いください。
● 長時間使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。液漏れにより、故障の原因になることがあります。

ご注意

電池でお使いの場合は必ず、ACアダプターのコードを本機からはずしてください。ACアダプターを接続してあると、切り替え機能が働いて、電池では動作しなくなります。

電池の交換時期について
● 電池が消耗してくるとテープの走行が不安定になります、そのときは、**一度に4本とも交換してください。**

家庭用電源で使うとき

● コードは確実に差し込んでください。

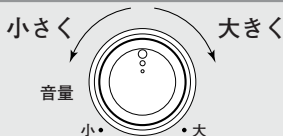
テープを聴く

左の図のように指でカセットドアを開け、テープを入れます。

- カセットのテープ面を上にして入れます。
- 手前の面が再生面になります。
- ふたを確実にしめてください。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。

1 テープに切り換える

- 本機はノーマル(TYPE I)テープのみ正常な再生ができます。

2 再生をする

「再生」ボタンを押し再生を開始します。

3 音量を調節する

お好みの音量に調節してください。

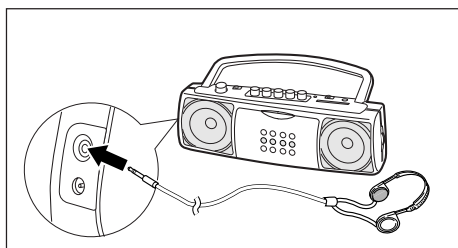
再生を止める、早送り、巻き戻しをする

再生を止める	「停止(■)」ボタンを押す
早送りをする	「早送り(◀◀)」ボタンを押す
巻戻しをする	「巻戻し(▶▶)」ボタンを押す

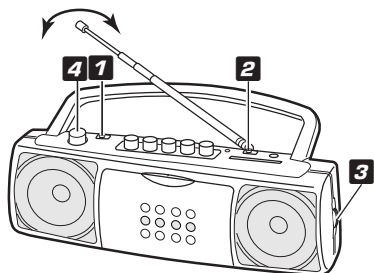
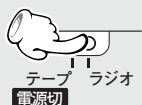
オートストップ機能について

再生(録音)状態のときテープが最後まで巻き取られると自動的に「再生」ボタン(「録音」ボタンが元に戻って、電源が切れます。

- **「早送り」、「巻戻し」で最後まで巻き取られたときは「停止」ボタンを押してください。**

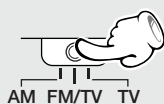
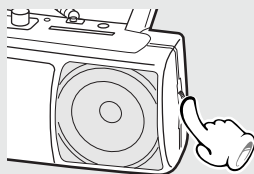
ヘッドホーンで聴くとき

- 横側のヘッドホーン端子にミニプラグ付きのヘッドホーンを接続します。端子が合わないときは変換アダプターをお使いください。
- ヘッドホーンを接続するとスピーカーの音は消えます。スピーカーで聴くときはヘッドホーンを外してください。

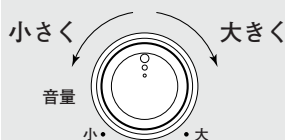
ラジオを聴く

CXR-A3TV(J)

FM放送やテレビ放送を聴くときはロッドアンテナを引き延ばし、感度のよい方向に向けます。

1 ラジオに切り換える

テープ／ラジオ切換スイッチを「ラジオ」に合わせます。

2 放送バンドを選ぶ

AM FM/TV TV

放送バンド切換スイッチを切り換えて選びます。
AM放送を聴く　：「AM」を選ぶ。
FM放送を聴く　：「FM/TV」を選ぶ。
テレビ放送を聴く：
　1チャンネル〜3チャンネルを聴くとき
　　→「FM/TV」を選ぶ。
　4チャンネル〜12チャンネルを聴くとき
　　→「TV」を選ぶ。

3 選局をする

「選局」ツマミで聴きたい放送に合わせます。

4 音量を調節する

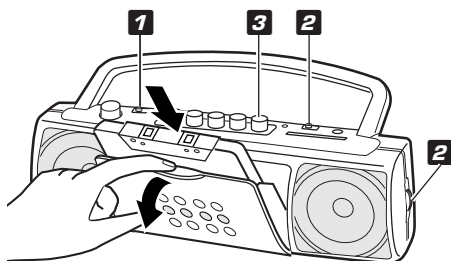
お好みの音量に調節してください。

ヘッドホーンで聴くとき

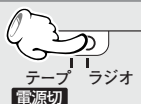
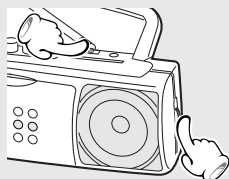
→ 9

操作編

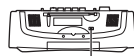
ラジオの録音をする

CXR-A3TV(J)

左の図のように指でカセットドアを開け、テープを入れます。

- カセットのテープ面を上にして入れます。
- 手前の面が録音面になります。
- ふたを確実にしめてください。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。

始めに録音するテープを準備します。
本機はノーマルテープ(TYPE I)のみ録音できます。

1 テープ/ラジオ切換スイッチを「ラジオ」に合わせる

2 放送局を選ぶ

録音したい放送を選びます。→10

AM放送の録音で「ピーッ」という雑音が録音されるとき

背面のビートキャンセルスイッチを切り換えて、雑音の少ない位置で録音してください。

ビートキャンセルスイッチ

3 「録音」ボタンを押す

「録音」ボタンを押すと、「再生」ボタンも同時に押し込まれて、録音が始まります。

- 録音を止めるときは「停止」ボタンを押します。

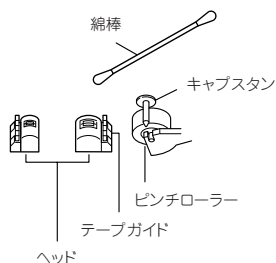
内蔵マイクで録音をする

1 テープ/ラジオ切換スイッチを「テープ」に合わせる

2 「録音」ボタンを押す

「録音」ボタンを押すと、「再生」ボタンも同時に押し込まれて、録音が始まります。

- 録音を止めるときは「停止」ボタンを押します。

ヘッドのお手入れ

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。

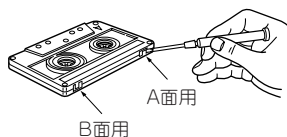
クリーニングは、次の手順で行ってください。

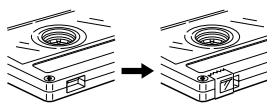
1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

テープの取り扱いかた

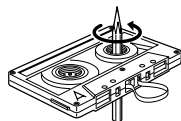
誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。
誤消去･誤録音が防げます。

再び録音するには

ツメを折った所だけにテープをはる。

テープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。
また、磁石や磁気は近づけないでください。

テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。

90分以上のテープやエンドレステープについて

90分以上のテープや、エンドレステープはピンチローラーに巻きついたり、切れたり、トラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

セットのお手入れ

ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジンアルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

故障かな?と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

症　状	原　因	処　置
音が出ない。	●音量を最小にしている。 ●ACアダプターがコンセントから抜けている。またはACアダプターのコードが抜けている。 ●ヘッドホーンプラグが差し込まれている。	●適当な音量にする。 ●ACアダプターや、ACアダプターのコードを確実に接続する。 ●ヘッドホーンプラグを抜く。
放送に雑音が入る。	●アンテナの向きが合っていない。 ●テレビの近くで使っている。	●雑音の少ない方向にアンテナや、本体の向きを変える。 ●テレビから離す。
テープの音がかすれたり高音が出なくなる。	●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になってる。	●ヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。
テープの音がふるえる。	●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。	●キャプスタン、ピンチローラーを清掃する。 ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。
再生ボタンを押しても音がでない。	●テープ／ラジオ切換スイッチが「ラジオ」になっている。 ●未録音テープを再生している。 ●テープが入っていない。	●「テープ」に切り換える。 ●録音済みテープと交換する。 ●録音済みテープを入れる。
録音ボタンを押しても録音できない。	●カセットテープのツメが折れている。	●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。

ステレオ音のエチケット

- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、となり近所への配慮を十分にいたしましょう。
- 特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

知識編

定格

[チューナー部]

FM受信周波数範囲（ステレオ）
.... 76MHz～108MHz

AM受信周波数範囲（モノラル）
.... 530kHz～1,605kHz

テレビ受信チャンネル（モノラル）
.... 1～12チャンネル

[アンプ部]

実用最大出力 .... 0.5 W+0.5 W (EIAJ)

[カセットデッキ部]

トラック方式 ... 4トラック2チャンネルステレオ

録音方式 .... 交流バイアス

ヘッド　録音／再生用...................................... 1

消去用 1

[スピーカー部]

口径／形状 ..... フルレンジ：5.7 cm、コーン型

インピーダンス .... 4 Ω

[総合]

電源

交流 AC100V, 50Hz/60Hz

直流 .... DC 6V（単三乾電池×4本）

電池持続時間

（アルカリ単三乾電池使用、参考値）(EIAJ)

テープ再生時 .... 約12 時間

ラジオ受信時 .... 約22 時間

最大外形寸法

........（幅）280×（高さ）100×（奥行き）58 mm

本体質量（重量）.......... 575 g（乾電池含まず）

付属品 .... ACアダプター×1

取扱説明書×1

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の 費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　)　　　-

KENWOOD

株式会社ケンウッド

〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京　電話（03）3477-5335　FAX（03）3477-5334
〒153-0042　東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308
〒532-0034　大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。